

93002



S

SUPERVISOR'S USE ONLY

OUTSTANDING SCHOLARSHIP EXEMPLAR



NEW ZEALAND QUALIFICATIONS AUTHORITY
MANA TOHU MĀTAURANGA O AOTEAROA

QUALIFY FOR THE FUTURE WORLD
KIA NOHO TAKATŪ KI TŌ ĀMUA AO!

Scholarship 2015 Japanese

9.30 a.m. Tuesday 1 December 2015

Time allowed: Three hours

Total marks: 24

Check that the National Student Number (NSN) on your admission slip is the same as the number at the top of this page.

You should answer ALL the questions in this booklet.

If you need more room for any answer, use the extra space provided at the back of this booklet.

Check that this booklet has pages 2–11 in the correct order and that none of these pages is blank.

YOU MUST HAND THIS BOOKLET TO THE SUPERVISOR AT THE END OF THE EXAMINATION.

INSTRUCTIONS

The exam consists of TWO parts, held in a three-hour time slot:

- first, a two-hour Writing section with two questions: Question One in response to the spoken Japanese listening passage and Question Two in response to the written Japanese reading texts in this booklet
- second, a one-hour Speaking section to answer Question Three in Japanese.

You will undertake the two-hour Writing section in a Writing Room and will undertake the Speaking section individually in a Recording Room.

LISTENING

Question One (below) requires a response written in Japanese, to a passage spoken in Japanese, played from a CD.

In your written response, you are expected to:

- effectively communicate with perception and insight, and create meaning in Japanese
- use a wide variety of complex structures and vocabulary that are well integrated into a synthesised response
- show understanding of the spoken language and its inferences, through analysis and evaluation, independent reflection, and extrapolation
- assemble ideas in a logical, clear, concise, and seamless/coherent manner, and make minimal use of expressions from the passage
- go considerably beyond the passage in expressing your own opinions.

Listen to a conversation between Jo, a New Zealand exchange student living in Japan, and her Japanese friend, Ken.

- You will hear the passage THREE times: The first time, you will hear it as a whole. The second and third times, you will hear it in sections, with a pause after each.
- While listening, make notes in the spaces provided. Your notes will not be assessed.
- Write your response, in **Japanese**, beginning on page 4. Question One is repeated on that page.

QUESTION ONE

日本とニュージーランドはお年よりが住みやすい国だそうです。
どうしてだと思いますか。日本とニュージーランドについて書いてください。

LISTENING NOTES

Jo NZ xchange

Ken, Japanese friend.

Leaning
gr 10
congrats & thank you.
おめでとう。お礼。
(Not in NZ.) (3ヶ月の日)
(の5日に)

(1133)の日。
↳ for old people
70 ~ 80 yr olds.
Public holiday
Ken gifts flowers & card to
granddad, "お花 いっしょに
お祝いだね。"

たぶん"お祝い"にしている。

LISTENING NOTES

NZ.

2030 : 5人1人 65+.

young country but
aging population.

Similar case
in Maori culture.

few people live with ji/ba
after grad H.S.

quite independent.

NZ
nature, safety, support from govt.
→ city : volunteer bathes; meals on
wheels.
→ qma : Jap volunteer.
rest home.

Top 10	
Jap	#9
NZ	#10

lots of old
people in Japan.

2013 4人1人 65+.

2030 3人1人 (" ")

(old but genti)

grad 80,

can't see,

can't drive, bad
legs. can't walk
a bit t=unk.

lines with Ken, Mum ones.
? 113 113 12 11 13.

→ in Japan too.

less line in old p.

if they get sick,

(11 11) 11 11 11,

no one knows.

Japan has
tradition of valuing
old people.

Jap future #1,

same with NZ
before she's old.

日本とニュージーランドはお年よりが住みやすい国だそうです。
 どうしてだと思いますか。日本とニュージーランドについて書いてください。

ジョーとケンが話している~~ウェブ~~のときに見たウェブ
サイトでは、ニュージーランドと日本がとてもお年より
にとって住みやすい国だと書いていました。オーストラ
リアは10位、日本は 세계에서9位だと書い
~~て~~ジョーは言っていました。これは、リタイアの国に
して、とてもいいことだと思います。日本では、2013年^{には}
~~(65歳)~~ 65才よりお年をとっている人は4人に1人でした。
~~しかし~~^{だが}、2030年までには、お年よりが3人に1人にならな
るそうです。にているように、ニュージーランドは、2030年
までには、お年よりが5人に1人になるそうです。
—
こう言うじんこうへのかわりをかんがえますと、
—
~~お年よりにたいしてどうやるか~~のお
~~もや、かんがえたをどくよくして行くことが~~
たりせったと思います。

~~今、^{の人たちにも}ニューズラッドと日本が~~とても
 お年より~~に~~とも、今 ニューズラッドと日本がとても
 よくしていることは、お年よりの人たちを ^し ^か ^い ^人 として
 たりせつに ^と ^つ ^ち ^の 思っていることです。 ~~リキ~~ ^王 ~~は~~ ^と ^つ ^ち ^の ^王 ~~で~~ ^も ^王 ~~も~~
 お年よりは「いろいろ ~~な~~ ^な ^け ^い ^け ^ん をして、 ~~い~~ ^い ^は ^い ^い ^い ^い
 がんかえをもち、今の ^私 ^{たち} ^の ^げ ^ん ^た ^い ^を ^く ^み ^た ^て ^て ^き
 くれた ^人 ^と ^い ^う ^人 ^い ^い ^人 ^か ^え ^が ^あ ^り ^ま ^す。この ^今 ^ま ^で
 の ^{かん} ^し ^の ^き ^{もち} ^を ^つ ^た ^え ^る ^の ^に、^{ケン} ^が ^話 ^し ^て ^い ^い
 た ^よ ^う ^な ^け ^い ^ろ ^う ^の ^日 ^や [、] ^ジ ^ョ ^ー ^が ^話 ^し ^て ^い ^い ^た ^よ ^う ^な

~~オオサリの人~~などの、~~まっけ~~ま、年よりをよりわうぶんかは、
ま、年よりの人たちを、人としてたっせつにしている一つのほうこ
です。ま、年よりをたっせつに思うことにより、おかしの
れきしやぶんかをたろうたり、とてもけいけんぶごかいけいけんが
聞けたりします。しょうい、もとしい日本とニュージーランドと
日本をつくるためには、~~あか~~かにあを、いことわるいこと、
~~あ~~かるなうて^{かるのほうか}~~は~~、もと人にやくたつ、~~は~~^{へいめな}
せかいが出来ます。//

~~日本では、ま、やなど、ま、年よりを~~ //

年をとると、もろ人、体がとんとんわるくなていきます。
目が見えなくなたり、歩けなくなていくと、まわりの
人かるのサポートがひつようになります。ジューとケン
が話していたように、日本ではま、やのかりをさる
のがでんとうたたり、ニュージーランドでは
ホランドアがたべものやまふろのてつたりをししてくる
きかりがあると、~~あ~~きちんとたべ^{たい}きれいにしたり~~あ~~する
~~あ~~ことかできます。いけんたい、ロボットやコンピューター
がますますいろんなこと~~あ~~できるようになり、しょうい
は、~~あ~~しよくしのとどけ、まふろのじやうんび
などのかんたんのかりはきかりを^{つが}~~あ~~できるか
もしれません。ま、年よりがふえ、できなりことをてつたう
わかい人^人がすくなると、ケンが言っていたふな「一人で
すんで~~あ~~なくなちやう人^人などのしかりもんたい」が
ふえていくかのうせいがたかいので、テクノロジーを
つかい、~~あ~~あいうもんたいをすくなくできるとニュージー
ランドと日本はま、年よりにとつてもと住みやすい国
になていくと思ひります。//

cont. in

extra space.

READING

Read the three magazine articles below, then answer Question Two on page 7. Base your response on what you have read, and give your own ideas relating to the articles. Provide your answers in **English** or **te reo Māori**.

お年よりとインターネット

お年よりの中にはインターネットを上手に^{つか}使っている人もいます。能作さんは60才で会社をやめた後、70才までに何か新しいことを始めたいと思って、いろいろ調べた。そして、何かをするためには病^{びょう}気にならないで元^{げん}気でいなければならないと考^{かん}えて、病^{びょう}気にならないための生活^{せいかつ}習慣^{しゅうかん}について勉強^{べんきょう}したことをインターネットで紹^{しょう}介^{かい}し始めた。それから、たくさんの方が能作さんにもっと教えてくださるとたのんだので、「もっともつと元^{げん}気になるためのアドバイザー」になって、70才で会社を作った。たくさん勉強^{べんきょう}したくなって、75才で

大学^{だいがく}に入った。卒業^{そつぎょう}する時には81才になっているはずだが、今の会社をもっといい会社にして、「ゴールド・シニア」、金のような100才になりたいのだそうだ。能作さんは、インターネットを使^{つか}って新しいゴールを見つけたお年よりの一人なのだ。

←もっともつと元^{げん}気になるためのアドバイザー 能作さん

お年よりと携^{けいたい}帯電話

日本はお年よりが増えているから、お年よりのための携^{けいたい}帯電話がある。かんたんで使^{つか}いやしくて、メニューも大きくて見やすい携^{けいたい}帯電話だ。まわりの音を小さくして、言^{こと}ばを聞^ききやすくするテクノロジーを使^{つか}っている携^{けいたい}帯電話もある。携^{けいたい}帯電話はゲームをしたり、ビデオを見たり、漢^{かん}字^じの読み方を調べたりできるからとてもべんりだが、お年よりとの本^{ほん}当^{とう}のコ^こミュ^{ミュ}ニ^ニケー^{ケー}ションにも使^{つか}うことができる。携^{けいたい}帯電話の使^{つか}い方がわからないおじいさんやおばあさんに、若^{わか}い人^{ひと}が使^{つか}い方を教えるのだ。お年よりと若^{わか}い人^{ひと}の興^{きょう}味^みは同じではないから、携^{けいたい}帯電話が二つのジェネレーショ^{はし}ンの橋^{はし}になれる。

お年よりのための携^{けいたい}帯電話→

Sources:

(p. 6) http://toyama.shiminjuku.com/home/kigyoku_challenge/contents/y_nousaku/flv/pro_nousaku.html

(p. 7) <http://palro.jp/recreation>

お年よりのためのロボット

最近^{さいきん}は一人^{ひとり}で生活^{せいかつ}しているお年よりが多いので、人と自然^{しぜん}なコミュニケーションができるロボットは、これからもっと必要^{ひつよう}になるはずだ。たとえば「パルロ」というコミュニケーション・ロボットは人と会話^{かいわ}ができる。パルロは人の顔^{かお}がわかるし、知らない言葉^{ことば}を聞いた時は、意味^{いみ}をインターネットで調べてくれる。話している人にちょうどいい会話をしてくれるから、大切な人^{たいせつ}と話をしているのと同じぐらい、うれしく感じる^{かん}そうだ。パルロはインターネットにあるニュースも読んでくれる。「今日の天気は？」と質問^{しつもん}したら、その日の天気も教えてくれる。写真^{しやしん}もとってくれるし、今日の予定^{よてい}も教えてくれる。ダンスをすることもできて、ダンスの後で「私のダンスはどうでしたか」と聞いてくれる。そうするとお年よりは楽しくなって、いっしょにダンスをすることもあるそうだ。値段^{ねだん}は70万円^{70まんえん}ぐらいだからまだ高いが、安^{やす}くなったらたくさんのお年よりがパルロと友だちになれるだろう。

コミュニケーション・ロボットのパルロ

INSTRUCTIONS

This question requires a response written in **English** or **te reo Māori**.

In your written response, you are expected to:

- effectively communicate with perception and insight, and create meaning, in English or te reo Māori
- express ideas convincingly and hold the interest of the reader
- show understanding of the written material and its inferences, through analysis and evaluation, independent reflection, and extrapolation
- justify your own arguments in a logical, coherent, and seamless manner.

QUESTION TWO

How is technology having an impact on the lifestyle of the elderly in Japan?
What is the case in New Zealand?

Use evidence from the reading texts to justify your ideas, opinions, and conclusions.

Technology has evolved into something that permeates every aspect of the modern lifestyle, from social media use to touch panel reception screens. While generations who have grown up

With such advanced technology can often pick up on the uses & benefits easily, older people can often have difficulty using or understanding new technology. However, this issue is beginning to be recognised, & there are many actions to make technology more accessible to the elderly, as well as useful for their specific needs. 1

In Japan, the complicated nuances of smartphones were recognised as creating a barrier for the elderly to be successfully communicating using technology, so cell phones such as mentioned in article two have been developed. They have large screens, easy navigation & simple use, as well as louder isolated sounds. Such devices are acting as a ~~gap~~ bridge between generations in Japan, where young people can teach & introduce the use of these cell phones to the elderly, as well as maintaining communication through them. I think as well as the practical use of these phones, this societal benefit of enabling communication & a shared interest between generations is vital to a communicating & cohesive society, where all members feel involved & valued. 1

An exemplification of the success that can be gained through the mastery of technology by the elderly is the man introduced in article one, 'Professor 'how to get even more vitality' Newsaku. He started an information website

Write the question number(s) if applicable.

① たが、ただ ~~ただ~~ ロボットで たがものやからたの
 ケア たがは かんがえてはいけません。 ~~人~~ には
 は、 バッテリーの ケア も ひつようと、 それを して、
~~また~~ 年じり ~~整備~~ の かかりを している ニュージ
 ランド と 日本 は ちがう と思います。 —————
 あかき ボランティア たたり、 まわり に きれいな
 けしき が ある の も たり せう ^で ~~た~~ の で、 ~~日本とニュージー~~
~~ランドは~~ ~~ちがう~~ ~~とも~~ ————— 日本 と ニュージ
 ランド は ~~ちがう~~ ~~とも~~ これ を も ~~あ~~ っている の で、 ^{それによつて} ~~ちがう~~
 「住みやすい」と いう こと に ~~あ~~ ~~て~~ ~~る~~ ~~こ~~ ~~も~~ ~~あ~~ ~~り~~ ~~ま~~ ~~せ~~ ~~ん~~。
~~このま~~ ^{あて いる こと もある}

このように、ニュージーランドと日本は、
2年よりをたいせつにするでんとう、ぶんか、かんがえ
かたとかんきょう^{にせい}~~せい~~ととも2年よりとしては、
1年みやすいところになっていると思います。// —
~~また新しいテクノロジーをつか~~^せ~~い~~ —
いちばんたり^せつなになばんかんたいやバのケア
をしなわすは、テクノロジーをもとつかっていき、
ニュージーランドと日本はもと1年みやす
なり、「2年よりが~~1~~1年みやすい~~は~~国」の
1位になれるでしょう。// —

Extra space if required.

Write the question number(s) if applicable.

QUESTION
NUMBER

② ~~After~~ after his retirement on ways to stay healthy when you are older, in a bid to find a hobby to occupy his time. His website attracted many fans. At 75, he enrolled in university. This is an example of ^{the potential} ~~how~~ technology can open up so many doors & offers has to provide psychological support for the elderly, to keep their minds working, & the joys that ~~can~~ ~~be discovered~~ lie in discovery of ~~that~~ things that would not be accessible otherwise. The internet has the potential to be hosting elderly communities for communication & support."

An issue is while technology has the potential to be providing such amazing outlets of communication to keep the elderly healthy & safe, accessibility to these options is an issue. The cellphones mentioned in Japan are not widely available in New Zealand, & similar easy navigation computers to ^{enable} ~~access~~ ~~the~~ internet use are often expensive. This poses a ~~large~~ problem as while the technology is available, it is not necessarily ~~so~~ actually able to serve the positive

Extra space if required.

Write the question number(s) if applicable.

ASSESSOR'S
USE ONLYQUESTION
NUMBER

purpose it has. Take ~~Paul~~ 'Paulo', the elderly care robot who has realistic conversations, take photos & even invite someone to dance. He can recognise faces ~~faces~~ & would be a fantastic aid in keeping an elderly person engaged & communicative when human attention is not possible. He costs £70,000 about \$10,000 NZD. The larger & elderly population of Japan enables easier access to smaller items as phones but it too, let alone New Zealand cannot afford to make this useful technology more available."

It is vital that we recognise technology to be the future of elderly care. Japan & NZ both have aging populations, & there are simply not enough of us to care for the elderly, physically & emotionally. While the increase in aging population will make these robot phones & accessible internet available, an increased ^{value of} ~~importance~~ the importance we need to place on technology will make them more accessible. Which is not to say elderly care will become dehumanised, ~~all of~~ both NZ & Japan have elderly community groups to talk st, to learn how to use the internet & so on, but, as presented in the three articles, we just have to recognise the potential technology has to promote native aims.